# 京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金廿五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲繫報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通(電話六八六三)
發行所　京城新報社

## 雜錄

### 漢城より　北韓山生

▲平壤鑛業所の水谷機關中佐は吾等に平壤炭坑の採掘設は所謂十年計畫なるものなりと語り聞け候、而して曰く十年後の海は將は石炭を使用すべきやは疑問なり、或は石油、或は電氣、何れともあれ進歩の度は豫知する能はざれば也と。

▲石炭の需用は海に陸に多ッ、假し進歩の度も豫知し得べきにあらずとするも雜多の工業には矢張り十年二十年無くて叶はぬ物なるべし、然れども我が九州、北海道すらは撫順炭等の運命も茲十年が間には何とか定まるべければ、先づ夫迄は今の方針を可とすべきに候

▲韓鐵管理局にては、近日中全線の名勝案內を釜山外二十六驛の構內に揭示し將や一二等客車內に同じく全線の線路圖を揭げんとて、製圖を東京に注文せりと申す事に候、是れ等は固より有要事たるに相違無きも、吾等には別に落ち兼ぬる節有之候。

▲第一、韓鐵に觀光の客を呼ばんは少なくも今三五年の後なるべく、若し韓鐵調査の如き鐵道夫れの業務の爲めに將た天下公衆の利益の爲めにするものも經費其他の理由に依り急に施行する能はずとならば、專ろ車窓內の旅客を慰むべき設備を先にするを要せずや如今、驀行中の列車にすら投石の危險頻々たる時に方りては、名勝も古蹟も有つたものにあらずとこそは存せられ候

▲次には線路圖を一二等客車內に揭げんとする當局の計畫を馬鹿らしく存じ候、線路圖を見て益するものは數に於ては三等客車に乘るこそ多けれ、單に車室內の裝飾ならば兎に角、多額の經費を要するにも非らざるべきを如斯き事にまで等級別の偏頗は謂ふ所の愚にいつかぬ企てに候はずや。

▲平壤の韓人古老曰く、吾等生れて六七十年間大同江の水を飲むで如斯健在なり、何ぞ水道水を食ふを須ゐん、況して水道の水も同じく大同江水にあらずや、異なるは唯鐵管を通せしのみと平壤水道は知らず、京城水道の如く每に蛭や蚯蚓に脅されては平壤古老の言に同じたくなる也、殊に此點は韓人給水夫の專橫甚だしく、中以下の市民は甚だ困惑せりと聞く、炎暑の候、疫癘是れより猖めざるべからざるに方り、之れも文明の利器たる水道あるが爲めに反つて市民を殺すなからんことを其筋に懇請致し置き候也。(十三日稿)

## 雜報

### 艦船と電力應用

今や歐米各國に於ては船舶用機關の動力として電力の適用せらるべしとは一般に期待せらるゝ所なるが之が實用的に採用するに至るも蓋し遠きに非ざるべし現に軍艦汽船內の諸機關に電力の應用せらるゝもの實に著しきものあり殊に新式軍艦に於て電力を要するもの甚大にして我堅艦薩摩の如き最も嶄新なる電氣機器を備へ非常に強大なる電力を使用しつゝあるが其電力と使用方法は今詳かに之を說くを得ざるも兎に角軍艦中に於ける最著なるものと云ふを得べし今又米國に於ける電氣學者は艦艇の推進動力として電力を使用せんが爲め熱心之が研究中なるが有名なるタートノール氏の如きは現にパラゴン式をトラプ汽船に艤裝中なりと此計劃は六百馬力のタービン機關にして每分二千四百回轉、推進器每分の回轉は八十回とす然して機關は凡て艦橋より直接操縱せらるゝものにして頗る嶄新なり且前進後退共に其効果を增進せり之を同率の汽罐に石炭を使用するとせば其一割八分を節約し得べく速力に於て至大の利益あり之が實驗にして成功せば更に之を軍艦に應用するに至るべしとのことなるも單に燃料の節約と速力の增大のみにて直に之を軍艦に應用するに至るべきや否やは未だ疑問に屬す兎に角世界に於ける電力應用の進歩は驚くべきものあり

### 無警察の米國

米國シカゴ市では一年の殺人犯數百十八人であるが巴里では十五、シカゴの人口四倍の倫敦では二十、米國ゼオジヤ州では四十五で殆んど英國全體の殺人數に匹敵して居る、而して此等の殺人の犯人の捕縛さるゝものは最近の統計によれば百人中一人とコンマ三に過ぎない、九十九人は罪を免れて居る、米國全體では一万餘、三年にして英土戰爭に於て英國の戰死者の數と同等になる、紐育に於て竊盜掏摸等の七割五分は警官の腐敗の爲め捕縛されても又放免されて居る銀行ホテルや鐵道で私費で警官探偵を雇つて居るのは市の警官に依頼するより費用が少なくつて、安全だからだ之皆市政腐敗の結果である

### ●大連浦鹽間の連絡

今回の日露協約中に東淸鐵道間及び大連浦鹽間の連絡に就ては何等協定せらるゝ所なかりしが、是れは新協約が滿洲に於ける日露の協同政策を主眼とし利害の一致を圖るに至りし事情より當然の事にして右の內大連浦鹽間の汽船連絡に關しては別に八月末露都に於て開催せらるべき鐵道連絡會議に於て協定せらるゝ筈なりと聞く



### ●鴨綠江の架橋工程

鐵道建設事務所に就き所管鴨綠江架橋工事の最近狀況を聞くに▲南部橋臺は土砂に瀕する一部分を除くの外全部竣工し同じく第一號より第六號に至る橋脚竣工又本年解氷後工事に着手したる第七號第八號の同橋脚は既に基礎工事終り石積工事は水面以上三分通進捗本月末日迄に全部竣工出水するも破損の憂ひなし▲同十一號橋脚工事は潜水函の掘付全部終了▲其他淸國側に於ける橋臺石積工事は二分通進工等なるが同橋臺は深く陸地に侵入し居る故今後出水等の變に遭ふも爲に損害を蒙る憂なき由なるが迫て雨期に入りては一般に於ける工事の大半は休止する由なるも右の橋臺築造工事の如き其他出水の爲に支障を被らざるものは繼續施工する筈なりと

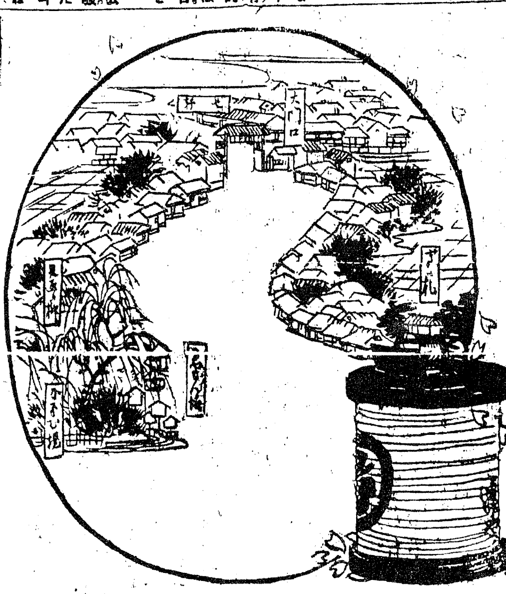
### ●釜山汽船航路擴張

釜山汽船株式會社の經營せる韓政府の現在命令航路は過去一箇年間の實驗に徵するに尚ほ大に改良を要すべきものあり殊に南韓一帶に於ける產業發達の趨勢は新開地到る處に現出し到底現寄港地のみにては不足を感ずる有樣なるを以て同社にては曩に韓政府に對し寄港地を齊馬山浦獄子島濟州島影天方魚津等に擴張し之に關する命令變更を申請する處あり而して同政府にては其必要を認め目下調査中なるが如ければ近く路線を經て決定し同時に航路延長に伴ふ經費補助の增額を爲すべしと云ふ

## 講談

### 大岡政談　越後傳吉　第二十二回　旭堂南陵講

四郎左衞門は更に言葉を次で　四『宜いかね、是等は皆お前が使つて行くんだといふと惡いけれども此樣人間に甘い顏をしちやア可けません、氣に入らなかつたらドシ〳〵と暇を出して下さい、この玉ヶ町三浦屋で暇を出した者は、おやア使はせませんからナ　傳『ヘイ』　四『お前のいふことに背くやうなことがあつたら、片ッ端から免にしておしまひ　傳『誠に何うも恐れ入ります　四『今日から何うぞ番頭に成て下さい　傳『有難う存じます　四『コレ〳〵お前方一同にいひ渡すが　一同『ヘイ』　四『安兵衞は今日から樓を退かせますに就て、傳吉が番頭になるゆゑ、傳吉のいふことを背いた奴は片ッ端から免にするから、一寸言渡して置く　○『オイ、全體乃公等は何をしたんだ　△『皆なワイ〳〵騒いで傳吉を番頭に擔ぎ上げてしまつたんだ、飛んでもねえことになつた　▲『うれ見ろ、だから云ねえこつちやアねえ、詰らないことをしたから御異見番が大番頭になつてしまつた、皆が騒いで到頭傳吉を番頭に擔ぎ上げてしまつが、サア傳吉がいよ〳〵番頭になつて來ると今までの三浦屋さんがやつて居ることゝと全然ガラリと趣意が異つて來た、何しろ米搗から飯焚き臺所廻りを働らいて、それから油檢べを働らいて來た傳吉だから、家內中の事は皆な頭へ入つてある、一箇月に炭が何んぼ要つて、油が幾ら、醬油が幾ら、薪が幾ら、さうして費用が幾らといふことをチャンと心得てゐる、中々外の若い衆共に誤魔化されない、傳吉はビタリビタリと法を立てゝ行く、已れから先に立て働くやうにするから若い衆は皆働かなければならぬ、コセ〳〵いつて使ふばかりが能でない、その間々には傳吉が褒美を出す、切れる所には切れて置く節約をするときはウンと節約をする、儉約はすべし吝嗇はすべからず、尤も昔から奢つた人に充分に盛つた者は少ない、奢る平家は西海の波間に漂ふ、わが日本で奢侈の隊長といふのは御堂の關白太閤秀吉、千の利休といふ人が秀吉の登城がけに『奢る者久しからず』といふ建札を立た、秀吉はこの建札を見てその裏に『奢らずとも久しからず』といふことを書き遍したといふことで秀吉は利久が奢る者は久しくないといふのを、奢らないでも久しくない、豐臣秀吉の天下は德川が跡を續けて居るから奢らないで節約をしても豐臣の天下はこれで終ひといふことを書いた、果して豐臣の天下は一代で倒れた、それは成程ぞ秀頼、秀次があつたけれども、天下として世に立派に立た方は秀吉一人、其點へ行くと德川家康は儉約したたから、豪らかその風習が二代、三代、四代と續いて居りましたが德川十五代、それも不思議にも文恭院殿家齊公の時代からボツ〳〵奢り始めた到頭それがために、パタ〳〵と十五代になつて王政復古を見るやうなことになりました、サア斯なると傳吉は內外共に思ふやうになるからいよ〳〵御異見番の任務を盡す、お客が二日も流連をすると遠慮なくドシ〳〵異見をして歸します、この評判がズッと立たものですから立派な堅氣の親達は　親『コレ倅お前今日參會に行きますれば、何うせ二次會は吉原だらう　倅『左樣でございます　親『何うか遊びに行くんだつたら外へ行ず三浦屋へ行くやうにして下さい三浦屋で遊ぶんだつたら構ひませんから、彼所の樓は決して無駄な金子を費はせない、流連すると意見をして歸すといふ、誠に結構な遊び場所、何うぞ遊ぶんなら三浦屋さんで遊んでおくれ　親達が倅にいふ、倅も亦　倅『一寸お父さん、女郎買に行つて參ります　親『困るなア女郎買に行くのに親にそんなことをいつて出掛けて行くものがありますか　倅『イエ、三浦屋へ行きます　親『そんなら宜しい』まさかそれほどでもなかつたでせうが、遊ぶんなら三浦屋へ出掛けるが宜い、彼所は無駄なことをしないといふ評判が立つたからサア三浦屋は繁昌する、成程さ愉快をしやうとして來る所でござりますから安心をして遊べる所でなくちやア可かぬ、實に三浦屋の繁昌は一通りでない



東京電報

▲**東宮殿下行啓** 皇太子同妃兩殿下には今十三日前田侯爵邸に行啓御先着の朝香宮竹田宮其他の六宮殿下に御對顏ありたる後家人一同に謁を賜へり夫れより各殿下は侯爵家の寶物御覽庭園御散歩能樂園にて能樂及活動寫眞の臺覽あり尚ほ講談薩摩琵琶並に三曲合奏を御聽に達し午後六時半還啓さる(十三日)

▲**宮内官制改正** 皇室令を以て宮内省官制及宮内官々等俸給令を改正し宮内官旅費令を公布されたり(十四日)

▲**手形交換成績** 東京手形交換所の成績は前半期並に前年同期に比し稍々良好にして前年同期より金額に於て二億九千萬圓前年半期より一億圓を增したり(同上)

▲**鐵道驛名整理** 我が鐵道院長は内地及滿韓鐵道を通じて同驛名字異同音の停車場多數あり不便尠からざるを以て近く驛名を整理改名せんと調査中なり(同上)

▲**日露協約好評** 昨日發表せられたる日露協約に就ては當局者が滿洲の現狀幷に將來に關して能く兩國の親善を計り相互の諒解及び競爭を避けて交通商業の發達を期することを協約せるを以て機宜に適へるものと認め一般に好評なり(同上)

▲**中村御慰問使** 侍從武官長中村陸軍中將は御慰問使として恩賜品を携へ來る二十二日東京出發臺灣に出張す(同上)

▲**米國陸軍卿來** 米國陸軍卿は明十五日來航の筈なり(同上)

論說

## 三派の提携成立

大韓協會政友會進步黨の三派が連衡して時局に當らん事を策し過日東大門外淸凉寺に密會して協議を凝らしたるは既報の如くなるが尚ほ十二日も會合を重ね相互の意見玆に一致を見るに到れり今此連衡を誘致せる動機に就ては例の一進會が時局進展の功名を我物顏に誇稱するを見て嫉妬措く能はず是は畢竟三派の勢力不振の爲めのみならず一は又從來の行動兎角大勢に逆航せるが故なり既に韓國の運命は日本の掌裡に屬し韓國民如何に地團太蹈むも到底之に抗すべからず則ち右せよと言はるれば右せざるべからず左せよと命せらるれば又之に從はざるべからざるに濫りに之に激し蟷螂の斧を以て龍車の大に當らんとするが如きは決して智者の事に非ざるなり所謂最終の功を收めんと欲せば勢を制し巧みに之を御するに如かず故に此際徒らに分立して迷路に彷徨せんよりは小故の主張を拋擲して相互の提携を遂げ以て一進會をして獨り功名を擅まにするを得ざらしむるを得策なりとし彼の唯一の策士高義駿最も熱心に奔走し其肝煎にて難なく成立したり高義駿等の希望は三派を打つて一團とし一大政黨を組織せんといふにありしが元來其出處系統を異にせる各派なれば遂に之を期待すべからざる故に善は急ぐに如かずと不取敢内約の下に提携し且つ黨名は依然之を存置せんといふにぞしたり然れば別に聲明書抔を公表せず機會毎に三派より委員を出して協定する筈なりといふ

## 土地調査と地主

土地調査局が土地の調査を爲すに當りて地主に對する方法は曩に模範調査として高平郡に執行したるを初めとし今後は此例に依り各地一樣に執行する筈なるが今其の規定を聞くに左の如し

一、地主は所有地の申告書を提出し其申告書用紙は特に官給し且其調製の方法を指示す

二、地主は其姓名及境界に誤謬なきを期せんが爲めに其所有地に字號、地目及地主名等を記載したる標杭を建設し且實地の調査に立會ひ地界の案内を爲すこと

三、地主は每一洞に一名或は二名の委員を設けて便宜調査に關する事務に當らしむべき筈にて這は地主各自の煩勞を省かんが爲めに設くる處の便法にして委員は多くの場合に於て地主に代り申告書の調製に從事し又は實地の案内等を兼行する筈

## 警察行政の統轄

統監府は警察統一後の理事廳警察に就き從來と何等異なるなき旨各理事官に通達せしが未だ旬日ならざるに十三日の公報を以て全部之を警務總監部の統轄に移したり其結果理事官の有せし退韓命令新聞紙規則の執行竝韓人の外國旅券交付等の重要なる權限を始め一切の警察行政は總べて理事官の手を離れ之を奪ひ去られたる理事廳は僅かに民團行政の監督及土地證明事務若しくは外交的迎接位の閑事務に過ぎず而して此結果現理事廳官制は大に變更せらる

## 千歲艦長以下謁見

仁川入港中の千歲艦長釜屋大佐以下大尉以上の將校十四名は山縣副統監の帶同にて十四日午前十一時昌德宮に參内韓皇に謁見敬意を表したり尚山縣副統監は小宮次官の案内にて宮内府各官廳を巡視したりと

●**佛國共和記念祝祭** 十四日は佛蘭西共和政治開設記念日に相當するを以て當地駐在同總領事館にては外國人の祝賀を受け統監府及駐韓軍より石塚參與官大久保大將國分檢事總長三浦理事官高橋副理事官等數十名訪祝したり而して同館にては副領事パイヤー氏總領事代理として鄭寧に答接し三鞭の盃を酌みて同國の萬歲を祝し尚は同夜午後八時より十一時迄夜會を催し同國人のみを招て祝意を表したり

●**京城在住の外國人** 最近の調査に係る在京城の歐米人及淸國人々口を聞くに左の如し

| | | |
|---|---|---|
| 英國人 | 八十八名 | 内宣敎師八分 |
| 米國人 | 百三十一名 | 内宣敎師九分 |
| 佛國人 | 五十七名 | 内宣敎師六分 |
| 獨逸人 | 十九名 | 内宣敎師一分 |
| 露國人 | 十二名 | 内宣敎師五分 |
| 白國人 | 一名 | 領事館員 |
| 淸國人 | 二千三十六名 | |

以上は領事館員をも含み又宣敎師以外は總て商人なりといふ

●**產業視察員の報告** 曩きに日本產業視察のため派遣せられたる全羅北道臨陂郡守林震棲は日本の富强は山水明媚にして氣候適淨なること敎育の隆盛なること產業の旺盛なること勤勉にして遊民なきこと交通機關の普及せること地方自治体の發達進步せること國民團結の深きことにありとし續々數萬言の報告書を提出せり

●**神戸補缺選擧得點** 神戸市に於ける補缺選擧は未曾有の大激戰を極めたるも遂に立憲國民黨派の勝利に歸し政友派の失敗に歸したる事は既に東電の報せし所なるが兩派の得點は左の如し

二千六百六十點(當選) 野添宗三(國民派)
二千三百五十五票(次點) 松方幸次郎(政友派)

●**副統監度支部巡視** 十六日副統監は度支部を視察す右に付き同部は建築所樓上に酒、煙草、鹽、印刷局製品、港灣設備圖、人蔘其他貨幣整理に關する標本又は模型を陳列して觀覽に供する由

●**各廳執務時間變更** 統監府及び統監府所屬官廳に於ては夏期は例年午前九時出廳午後一時退廳の規定なりしが今回午前八時出廳正午退廳に變更し十五日より施行する由

●**免許漁業の審査會** 庵原漁政課長は北韓に於ける漁況視察の爲めに來十七八日頃出發する由なるが出發前免許漁業審査會を開き慶尙南道の免許漁業七百餘件を處分する筈

●**千歲乘組將校入京** 目下仁川に入港碇泊中の軍艦千歲乘組將校高木機關少佐釜屋海軍大佐和田海軍大尉井上海軍大尉芹澤海軍大主計は昨十三日午後入京巴城館に投宿せり

●**若林前總監の謁見** 若林前警視總監は十五日午前九時出發赴任に就き十四日午後一時昌德宮に參内拜謁告別の挨拶を爲し尙は德壽宮へも參内せり

●**漢城府の道路補助** 漢城府にては市街道路改修の爲め地方費より一萬二千圓を支出せるが内部は其内六千圓を國庫より補助する筈なり

●**群馬共進會準備** 農商工部小池主事は名古屋共進會閉會後引續き群馬縣に出張し諸般の打合せをなし場所の撰定をも濟し出品物移送の整理を終り尙は準備を要するものあり一先づ歸韓する事となり一昨十二日歸邸したりと

●**南部重遠氏退京** 過日來滯京中の安東新報社長南部露庵氏は十四日午前九時十分發列車にて安東縣に歸れり

●**市原總裁の招宴** 市原韓銀總裁は十三日午後六時より水町財務官鈴木局長藤原銀行課長等拾余名を自邸に招待

## 天一銀行營業成績

資本金五十萬圓
政府貸下金十八萬圓
積立金九万七千圓
前期繰越金一万四千圓
支配人 遠山熙
副支配人 神永載吉

一時は瀕死の病人のやうに聞かれた天一銀行の名が、去年頃から立派な健康体に復した、十五萬圓の資本金は五十万圓に成つた、本年上半期の純益金は二万三百圓で前年下半期と略同じである、之れは金利も日本側の銀行と同様に引下げた上の收益である、遠山支配人は總体上半期は下半期に劣るが例であつて、其の上金利を引下げても前の下半期と同額の純益金を收め得たのは幾分營業が繁昌して來たのでせう、と笑ましげに語つた、預金は五十餘万圓、貸出は七十萬圓、配當は例に依つて一割、手形交換所の表を見ると取引者の數は三、四番の位置を上下してゐる。

## 全群增水と稻作

全州群山地方の平野增水の狀況に付て全州種苗場長岸技師よりの報告に依れば稻作に及ぼせる程度に就ては大要左記の通りにして其の被害は少なく寧ろ增收を示すの好果を呈すべく認めらる最も東津江流域の平野は被害程度未詳なるも植付の狀況は各方面の情報によりて充分なれば著しき害はなかるべく万頃江沿岸平野の狀況は左の如し

▲**第一回雨量と稻作** 第一回の降雨は六月十八日より十九日に亘り其の雨量當地八十七耗にして之を石數に換算すれば一反歩約四百七十石に達するを以て之を勸業模範場調査に係る一反歩當植付用水量五百三十石に對して幾分の不足あるも當道の土質に對しては最に近き用水を得たるが如く各農場報告によるも孰れも適良にして目下植付最中との報を得たり

▲**第二回の降雨** 第二回の降雨は六月二十五日にして其雨量當地三十六耗之を石數に換算して一反歩約百九十余石に達し之を第一回の分と合算すれば百二十三耗此の石數六百六十余石に達せるが故に久しく旱魃に苦しみたるの田地も充分の用水を得各農場の報告は九割以上或は十分なりとの好成績を示し昨年の旱害約一萬町歩に近き畠を生じたるの狀に照せば本年は十分豐作を來すの狀を呈せり

▲**第三回の降雨** 第三回の降雨は七月一日夜より二日に亘り此の雨量百二十六耗に達せるが故に第一回及第二回の合計數百二十三耗に比して三耗の多きを示せり之が爲めに全州の增水量は一丈餘に及び萬頃江沿岸の平野は一面に汎濫の害を受けたり

▲**汎濫被害の狀況** 白鷗亭附近の平野は浸水區域の廣き處なるが其深さ二十六尺に達したり益山大場村細川農場の架橋は增水二十二三尺の高さに達したる爲め一時は危險の狀を呈せられしも防禦効を奏し幸ひに落橋の災害を免れたり元來此附近は尤も水利の便に宜しく昨年の旱害に際しても著しき影響を感せざりし處なれば今回の增水は其害何も甚しかるべき筈なるに被害の程度は次の理由にて意外に尠少なりき

▲**被害少なかりし理由** 時恰も小潮の時季に當りたるを以て減水の早かりしこと被害の度を輕からしめたるが如し若し此雨にして尙四五日遲からしめば大潮の時季となるを以て減水すること遲く幾分の被害を受けたるならん一昨年の增水は大潮に際したるを以て減水に五日を要したるも今回は長きも三日にして減水せりと云ふ次に增水季節の早かりしことも被害少なき原因なり

▲**稻作に及ぼせる影響** 第三回の降雨量は平時旱害多き大倉農場の如きに至るまで充分の植付を了せしめ同第三農場の如きは此れに依りて九割以上の植付を爲し第一農場は本月四日に於て六割を植付けたるも尙は八割の植付は十分なるべしと云へり其他昨年旱害に苦しめる各農場も大抵九割以上を植付せるが故に本年の植付反別は意外の數に上り若し今後の天候にして著しき變化を來さゞれば本道の米作は多額の增收を見るに至るべきか

## 咸南北靑の降雪

咸鏡南道北靑郡安山面附近は客月二十五日午後降雪あり翌二十六日夜には降霜あり生麻、大豆、荏、野菜、甘藷等凍死せしもの尠からず詳細は尙は取調中の旨同道書記官より報告ありたり

●**助役候補者と龍山** 京城居留民團助役は別項の如く委員會に於て二名を置くに決せしが右決定の魂膽は龍山側の京城對抗運動に基くものにして民團行政の現狀より見れば必ずしも二名を要せざるなり而して民長の希望は既報の如く或る時機の到達するまでは一名とし追て之を決する筈なりしが龍山側は峯尾氏の人物如何を知悉せずとて暗に反對の氣勢を示めし之を餌として或る人物を交換的に推薦するもの〻如く其人物は前民長大久保到氏と現議員大村百藏氏なり然るに大久保氏は強いて就職を望まざる由なるが大村氏は最も熱心に運動を試み各議員間を哀願し廻はり又議員等も同氏の現狀に同情し居れば或は推薦の筆を見るやも知れざる形勢なり而して其結果龍山側の希望として同氏を推薦し來りたる場合京城側の意向如何を窺ふに峯尾氏の相棒としての大村氏は余りに覇氣を有し且つ助役二名を置くの根本義と相容れざるの嫌ありとて容易に同意を得難き模樣なれば結局揉み合ふのみにて決定を見るに到らざるべしといふ

## 經濟協會例會

韓國經濟協會にては來る十八日(月曜日)午後七時より京城ホテルに於て例會を開會す當日は來韓中の法學博士松崎藏之助氏外二三の講話ある由會員外の出席希望者は十七日迄に京城ホテルに申込まるべしと

●**京城民會の委員會** 京城居留民會の撰定せる委員會は十三日午後三時より開催せり議案第一號より第六號迄逐次審議を重ねたる末第一號民團役所出張所を龍山に置くの件は原案の通り決し二號書記定員二十七人とあるは二十五人に修正し三號元龍山民團規則存續施行の件は原案の通り四號歲入出豫算追加の件は接待費の如き重複費目は之を除却して合計に於て約千五百圓を削減したり又五號助役峯尾晉三郎推薦承認の件は之を可決し更に助役定員を二名とするに決し他の一名は可成龍山側の希望を容れ其人撰も龍山側とし詮衡したるものを推薦せしむべしと協議し委員會の意見として本會に提出する筈なり更に六號案大久保民長に對する特別慰勞金千五百圓及會計役同上二百圓贈與の件は民長は千圓とし會計役は三百圓に增加したり而して各委員孰れも非常の熱誠を以て愼重なる討議を爲し爲めに屢々議論沸騰して其聲屋外に漏るゝ程なり故に全部終結するまでに約八時間を費し午後十一時散會せり其努亦多とするに足るべし

●**釜山船渠會社計畫** 釜山に船渠を設けんとの計畫ありそは目賀田顧問時代に政府事業として大小三四の計畫にて大なるは資本金三百萬圓を要し小なるは四五十万圓を以て設立すべき設計なりしが目賀田顧問の韓國を去ると共に一時行悩みの姿となり今日に至りたるが今や船舶檢査法發布せられ又一方には鐵工事業の計畫せらるゝあり釜山に於ける船渠事業は益々必要に迫り來り徒らに拱手して政府の經營を待つべきにあらざるを以て釜山民間にては過般來一大船渠會社新設の計畫ありて夫々協議中なりしが其内容は先づ資金を百萬圓とし尙ほ政府より相當の補助を仰ぐにある由而して之が設立場所は船渠は元來岩石の海岸を選定すべき必要あるを以て同港絶影島か若くは赤崎半島方面なるべしと云ふ

●**水力電氣經營計畫** 漢江岸にして龍山より五里許の牛川洞は京城附近に於ける水力電氣給水の場所として最適の地なるが曩に澁澤淺野二氏逸早くも同經營の權利を獲得し爾後荏苒今日に至りしが最近に至り日韓瓦斯會社をして經營せしめんの議あり目下兩者間には協商中の事なるが工費は約百二三十万圓を要し動力は三千五百馬力を出し得べし是に就き十月頃瓦斯會社は特に技師を牛川に派し實見せしむる筈にて多分は同社經營の運となるべしと因に云ふ同水力電氣にして開始さるゝ事とならば現在一燈二圓二十五錢の電燈料は優に一圓七八十錢に低減され尙京龍間工業用原動力の上に至大の便宜を與ふるに至るべしと

●**咸南地方農作概況** 今春來旱天打續き地質は頗る乾燥し麥作蔬菜の被害夥しく豆類の如きは發芽不充分にして生育不良加之各河川涸水の爲め水田は播種する事を得ず農民の憂苦一方ならざりしが六月に入りてより數回の降雨あり諸種の作物は勃然として蘇生し一時枯死に瀕せし大小豆も發穗盛に尙ほ水田も都合よく植付を濟し發育良好なり他黍稷の如きも未だ發穗に至らざるも數次の膏雨にて是亦た發育良好殊に近時の天候順調なるが上氣溫日中八十五度なるに夜間は時々の降雨あり就ては今後に於て水害の到るなんくば頗る豐穰なるべしと

●**韓銀支店の開業期** 韓國銀行にては大阪に支店を新設し八月より開業すべしと豫期したるが右は準備其の他に日子を要するを以て開業は多分九月頃となるべし尙は大阪に支店設置の理由は主として日淸韓の爲替決濟並に韓國貨幣製造の受渡等に關する業務を營み商業銀行として他銀行と競爭の態度に出でざる方針なりと

●**千歲乘組將校歡迎** 仁川官民の催に係る碇泊中の機關練習艦千歲艦長釜屋大佐以下重なる將校十四名の歡迎會を本日午後六時より八坂樓にて開く筈なるが時間を嚴守す可しと

●**水町財務官の歸朝** 歐洲よりの歸途當地に立寄りたる水町財務官は十三日午後十時四十分南大門發列車にて歸東の途に就きたり

●**各憲兵隊長の赴任** 滯京會議中なりし各憲兵隊長警務部長及同隊附將校は十三日を以て會議終了せるにより十四日何れも各任地に向ふ

●**韓國牛疫狀態調査** 福岡縣港務事務官熊井駒之助氏は韓國の產牛及び牛疫狀態調査の爲め來韓せられしが十四日農商工部に出頭したり

●**伊太利軍艦の來航** 伊太利軍艦カラブリア號は來る十八日長崎港より仁川に來航する筈

▲**京城手形交換高**▼

| 七月 | 金高 | 枚數 |
|---|---|---|
| 十四日 | 五七、九一三、一六 | 二五四 |

▲**治外法權**▼

京城手形交換所の本月一日より九日迄の變換成績を見ると各銀行の營業振りが偲ばれ得る樣な氣がする、之は僅かに交換所設置の一得だ▲統監府は伊藤公時代から新たに銀行の設立を認可せない方針の樣に聞及んで居る、而るに最近大邱に於て普通銀行設置の計畫があるが之を認可するかドウか、統監府の地方部長や理事官連には銀行の事は不案内だ、ドウか度支部專門家達の眼が開きたいものだ▲京日の側面觀によると大和町の副統監邸は目下男世帶だソウだ、此邸は和宮時代には如何はしい女共が一杯居つた、赤西湖時代には自分の妾や他人の妾で邸内は悉く粉黛で占領された其反動が今の男世帶で今昔の感に堪へぬは當時日夜同邸に伺候した連中のみに限らんやだ▲本願寺が勅額奉安式とか云ふのをやつた、之れが所謂大谷の韓人布敎の序開きかも知れぬ、本願寺の韓人布敎決して惡いとは思はぬ、併し今の賣僧共を使つては事は成せぬ、勅額よりは坊主の淘汰の方が急務だ▲一進會が又々二十萬圓の合力を其筋へ申出だソウだ、假令一時にても花を咲かした政黨がコウ乞丐根性を出すのは何の爲めか、麒麟も老いぬれば駑馬に若かずか▲此頃はドコにもコヽにも新聞買收の噂がある、併し噂は噂として其筋がソンナツマラぬ事をやろうとは信せぬ▲此頃内地の各新聞社が定置特派員以外に特派員を送つて來る、之を以て見ると遠からず何事かあるのかしら▲横尾時事子が田園生活を始めた、訪ふて見ると成程茄子や胡瓜が花盛りだ。

東京電報

▲統監府書記官 [illegible]統監府書記官に任命せられ[illegible]尙本日地方事務官に大更迭ありたり(十四日)

●**韓國と漆栽培の要** 漆は東洋の特產物にして泰西には漆の[illegible]らざる苦心を費しあれども未だ其の希望を達せず兵器の進步するに隨ひ艦艇の[illegible]乃至千年を經たる日本の甲冑類が往々土中にありて尙現存するが如き全く漆の[illegible]以て裝飾せられんには洵に由々しき國利民福となる譯にて實生するも十二三[illegible]具のウキとして是また理想的の用材な[illegible]らるゝ憂も少なく採汁したる枯材は漁[illegible]は漆の栽培に如くものなかるべしと

[illegible]の販路は歐米人は科學上よ[illegible]に比適し得べき塗料の發明に砂か[illegible]多量の產出あらんには實に比類なき良品として確認せられたる程にて數百年[illegible]の貴重品たる漆の栽培には尤も適當の[illegible]地にて若し韓國現時の禿山が悉く漆を[illegible]就ても松杉苗等と異り之に觸るれば力[illegible]ブレル事は韓人も承知し居れば[illegible]

公人私人

▲赤松晧(湖南農銀忠州支配人)十三日鳥致院より三日月旅館へ投宿
▲花井藤市郎(平壤勸業模範場技師)十三日平壤より入京浦尾旅館へ投宿
[illegible]本田より入京不知火旅館へ投宿
▲岸本[illegible](全州新報記者)十三日仁川より入京不知火旅館へ投宿
▲湯淺秀富(休職警視)十三日仁川行
▲松原仲太(憲兵大尉)十三日仁川行
▲[illegible]水五郎(憲兵中尉)十三日南原行
▲[illegible]部[illegible]信(憲兵中佐)十三日釜山行

東京電報

[illegible]

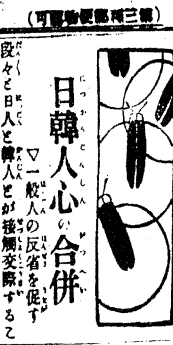
尚本日地方事務官の大更迭ありたり（十四日）

●韓國と漆栽培の要

漆は東洋の特產物にして多面には漆の器の販路次第に開け歐米人は科學上より漆に比適し得べき塗料の發明に勤からざる苦心を費しあれど未だ其の希望を達せず兵器の進步するに隨ひ艦艇[illegible]多量の產出あらんに以て實に比類なき良品として確認せられたる程にて數百年乃至千年を經たる日本の甲冑類が往々土中にありて發見するが如き全く漆の貴重品たる漆の栽培には尤も適當の地にて若し韓國現時の禿山が悉く漆を以て裝飾せられんには洵に由々しき國利民福となる譯にて實生するも十二三就ても松杉苗等と異り之に觸るればカブレル事は韓人も承知し居れば盜採せらるゝ憂も少なく採汁したる枯材は漁具のウキとして是また理想的の用材な[illegible]は漆の栽培に如くものなかるべしと

公人私人

▲赤松應宗（湖南慶尚忠州支配人）十三日鳥致院より三日月旅館へ投宿
▲太田より入京不知火旅館へ投宿
▲花井藤太郎（平壤勸業模範場技師）十三日平壤より入京浦尾旅館へ投宿
▲[illegible]（全州事務記者）十三日仁川より入京不知火旅館へ投宿
▲馮捷秀宙（休暇警視）十三日仁川行
▲[illegible]（憲兵中尉）十三日[illegible]行
▲高木五郎（憲兵中尉）十三日南原行
▲松原伸太（憲兵大尉）十三日仁川行
▲服部眞信（憲兵中佐）十三日釜山行



# 日韓人心の合併

▽一般人の反省を促す

段々と日人と韓人とが接觸交際することが多くなる軒を列べ竈を駢べる如になると（現在既に然るも、より以上）其の間に利害の關係、或は言葉の行き違ひ等より**喧嘩爭鬪**なども一層多く起らうし又好いたらしいと浮氣の戀の**姦通**事件や駈落沙汰、嫉妬喧嘩の結局が刃物騷ぎで斬つた斬られた殺されたなどの事件も頻發するに相違ないが其の事件の起つた度に事の善惡は第二として被害者が日人たるの故を以て加害韓人を憎んで黨を樹てゝ此れを威壓若しくは**暴力**を以て屈服させると云ふが如き事が萬一にも有つたならば**國家の損害**である被保護者或は被敎導者だとの考へから韓人自身が自ら抑制して萬事に遠慮するのは禮讓上有る可きことだらうが夫れあるが故に女房を盜まれても田に入る水を堰き止められても打ん擲られても親が殺されても默つて引つ込んで居ねばならぬ理窟はないのだ相當報復又は**權利を主張**するのは當然だ而して其の當然なるは認めながら猶且つ韓人の僻に生意氣だと云つて益々暴威を揮ふ者が今日までにも澤山あつた現在も澤山ある此の調子で今後に推移つたならば小暴動小爭鬪の絶ね間はあるまい京城や仁川や釜山や平壤の如き市街地を除く村落等に於て**日人**の脅迫**殺害**さるゝ者があるのは一は警察權の普及せざる點もあり且韓人の日人を憎惡するに原因するのでもあらふが毛嫌され憎まるゝ事を爲すからでもあるのだ地方を**行商する日人**には厭ふべき**詐欺的**手段を弄するものが多いのだ此れ等も今後は一層多くなる際であらふ、現在此の**統監府のお膝元**たる京龍間に於てさへ如何はしいことが行はれる威力を恃んで相當の賃金の仕拂を拒み肯かないと**加錢**の代りに**拳固**を遣ると云ふ陋習がある撲られる當人の不平憤は云ふまでもない此れを眼前に見た彼れ等韓人等は其の場に於て其不法を責むる事が出來ない丈けに其の**憤慨**は更らに猛烈である日人は韓人を保護すると云ひつゝ彼の横暴を敢てする保護と云ふ名の下に我々韓を**虐**るものだと放言する樣になる無數育なる一派人士が一擔夫軍を打ん擲つたと云ふ簡單なる事件も其の**波及**する所を思へば**寒心**すべき結果を生ずる、例へば日韓合併が出來ても日韓人間に意志の合併が出來なくては駄目である、要するに日人は韓人を目するに**上古文明**の宣傳者たりし朝鮮人の子孫を以て迎へ韓人は日人を見るに我々を幸福ならしむべき文明の**宣傳者**を以てする如くならねばならぬのである、と云つたら彼の文明國を以て誇る**米國**でも黑人を虐待するではないかと云ふ人もあるかも知れぬが文明國にも馬鹿はある、と判つたら何も其の**馬鹿**の眞似までするには當らぬ、我が敬愛する平民文庫投書家總角生君が十三日附にて文庫子に寄せたる左の書を參考として附す（むの字）

擔軍に不當なる賃錢を支拂ひ小言を云へば錢峯と食はす事の今猶屢々見受くるは實に苦々しき事共なり十二日の夕方所は本町五丁目○○商店へ商店明は記者に於て抹殺一の前で同店員にやあらん此の件にて小擔軍を打つ毆る蹴るの亡狀に傍にありし有髯の紳士が見るに見兼ねて中に入り手嚴しく其暴店員を訓戒した余は深く紳士の義擧を謝せずんばあらず

# 西小門外に轢死

▽住所氏名不詳の少女

一昨十三日午後九時三十分南大門驛發西大門驛行き列車が同驛を發し瀛笛を鳴らしつゝ西小門外に差し蒐りし時車輪に物の觸れたるより停車の上軌道を檢分せしに同所西側の線路の上に打ち伏し轢死せる一婦人を發見したり轢死者は年の頃十七八の容貌醜からぬ方にて着衣は木綿白地横縞模樣入りに木綿の襦袢を襲ね友禪縮緬に博多の腹合帶を締め東向きに兩手は稍前方に伸し右腕の下より脊骨胸部に掛け全く胴の全部を轢斷せられ見るも無慘の死を遂げたるが携帶品としては淺黄色の風呂敷に晒木綿八尺程を包みたるもの一個下駄と共に現場より約一間の箇所に置きあるのみにて住所氏名も判明せざるより警官檢視の上死体は民團に引き渡したりと昨は南山上に縊死を圖りし少女あり今は綠路の露と消へし少女を見る哀れは深き韓國の雨を含める雲の彼方に星と見ゆるは乙女の魂か

# 亂暴至極な石工

▽韓人船夫を海に投げ込む

仁川萬石町中瀬直太郎方雇石工上野順一（二七）は一昨日の午後九時頃月尾島より仕事を濟ましての歸り靈明堂の佐尾辨三外二名と共に十錢の約束にて金點夢（三〇）のサンパンに乘り對岸の稅關波止場に渡らんとしたるが途中にて右金は十錢にては餘りに安ければ廿錢を支拂はれよと增賃の請求をなし順一の之れに應せぬを見て再び元の錨地に引き返さんとしたるに順一は赫と怒り猪古才な韓人奴がと利腕確と掘るよと見る間にザンブとばかり海中に投げ込みしかば韓人は悲鳴を揚げて浪のまにまに沖に流れすんでの事に一命を落す處を邊りに碇泊せし艀に救助されたりとの訴に接し右順一を本署に引致し嚴しく說諭の上放還したりとぞ亂暴な奴もあつたもの哉

# 宮内官吏の窃盜

▽故意か不注意か

官吏の醜行ある事は敢て珍らしき事にもあらざるが西部盤松坊新村洞三十三統八戶宮內府主事正六品**李**相奎（三七）は昨年一月に韓皇**南韓行幸**の際故伊藤統監の**護衛兵**たる第六師團騎兵携行の物品を宮內府の**品**と共に同府倉庫へ運搬の際軍隊用茶褐色毛布一枚を**窃取**し自宅に隱匿し去る十二日西大門通り韓人古物商に金**三圓**にて**賣却**したる事を京城第二憲兵隊憲兵之を探知し目下引致取調中なりと

# 上月つねの公判

▽又々延期せらる

仁川質商間に於て一問題になり居れる上月質店に對する質物損害賠償事件の第二回民事公判は昨日開かるゝ筈なりしも訴訟代理人に差支を來したる爲め來る廿八日に又々延期せらる

●**嫁に貰つて賣る** 慶尙南道晋州郡城內五洞百五十六統二戶金姓女（一五）この娘に徐召史（一七）なる者あるが今より三年前即ち召史十四歲の折り京城南部會賢坊公洞十八統九戶金奎弘なる者來り召史を妻に呉れさすれば絹衣を著せ豐かに暮させ且つ母なる金姓女も安樂に暮せる樣扶養方補助すると稱するに付之を承諾し嫁入らしめしに金奎弘は不法にも妻にせず直ちに召史を本町裏通りなるカルボー屋金基洪に百五十圓にて賣飛したる事母の聞く處となり大に憤慨して南部署に告訴せしより南部署に於て示諭せしめ召史を母親に引渡さしめたりと

●**其樣にも飲度か** 仁川宮町山口鐵工所の職工なる長崎生れの下川福藏（二五）と云ふは一昨日同じ仲間の岩永某と猫島新地の南海樓に登り大盤風を吹かして初めの程は酒よ肴よと氣を吐いて居れる迄は好かりしも七圓の勘定を請求せらるゝに及びて青くなり懷中文無しなれば山口鐵工所に取りに來れと許りしも信用出來ぬとて跳ね附けられ剩に其筋に突き出され警官の厄介を受け初めて示談事濟みたりとは愈々厄介な男なり

▲**水揚法**▼

吾輩は水揚法でわる併し解語花の水揚法は我輩よりは諸君の方が尤詳しいと思ふが何れにしても花を樂しむことが出來ると否とは水揚法を知つて居るか否かに在るといつても可い殊に近來西洋風が輸入つて來て花が卓上の必要物となつたからには何人も一通りの心得が無くてはならぬ、が、詳しく語ると說き起さねばならぬから之れは他日に讓りて今は唯古からの仕來りでシカも極單簡のものの二三を數へやう▲罌粟● 切口を焦したる後その切口へ硝石灰を塗る▲牡丹● 切口に菜種油を塗りて燒く▲石榴● 切口に酒を塗りて燒くなほ藤も同樣である▲百合● 石榴や藤のカラ黨なるに引き換へてこれは又アマ黨であるから切口に燒砂糖を塗るが宜しい▲朝顏● 切口に爪のはぎり屑を挿入するが善いとは可笑いことだ▲蓮● 熱湯中で花柄を切りなほその切口の變色するまで煮沸を繼續することだ▲山茶花● 切口を削りて鹽水に挿し入るものだ▲この外重に用ふるものはアルコール、ウヰスキー、茶、紅茶などであるがその都度々々に現はれ出ることゝする。

●**ボヤ** 大坂府平民旭町一丁目百六十番戶の一駒木根熊藏宅より十四日午前一時頃失火せしが家人並に警官附近の者極力消防に盡力せし爲め大事に至らずして消止めしが原因は豆洋燈の火を消さゞりし爲めならんと

●**投藥** 仁川海岸町飲食店澤田久藏方販賣の蜜柑水は沈澱物あるより一昨日警官に發見され投棄を命ぜらる

●**拾得** 松尾牧場店員山下折吉は十三日午後六時頃明治町一丁目漢城病院前街路に於て金八十錢並に認印入り財布を拾得屆出に付心當りの者は至急南部署に請取方願出づ可しと

●**投石** 十三日午後九時五十分釜山發列車が慶山大邱間を進行中客車を目蒐けて投石したるものあり窓硝子一枚を破壞せりとは困つた惡戲

●**渡邊法院長を訪ふ**

▽淸爽掬すべかりし一時間

十三日の午後四時過ぎ統監更迭記念號に掲載する原稿を頂く爲めに南米倉町の渡邊高等法院長官邸を訪問した、御來客があつたので暫時待つて呉れとのことで應接室に案內される、齋生さんが退屈でしようとて新聞や雜誌を持つて來て見せられる、室の西南二面は庭園で旭町公園の翠樹は近く窓に來り迫る西方は南大門外の市街を瞰下し涼しい風は西から南へ吹き通した、與へられた新聞雜誌の內に『完全なる救』と題するのがある、披き見ると基督敎の主旨は人を罪より救ひ其救ひ出したる罪人を善盤に導くが根本的の條件だ、と云ふ風に至極平易に敎義が解釋せられてある涼しい風に浴しながら尊い御敎へを聽く天國は此所だと會得した、間もなく院長はヤア御待せしましたと言ひ乍ら出て來られたが私も四五日來加減が惡かつたので執筆も出來兼ねましたが來る日曜迄には必ず書いて置きますとの事に要談終つた後院長は自分は信者であるが裁判所部內の人々は全然勸めせぬ何んだか斯う強制する如くに思はれますからね而して夫れは敎へに反する譯ですから韓人信者の增加は非常にて其の敎會への寄附金は韓國の國稅額よりは多額の樣です先般平壤地方を巡視せし際に聞きましたが或る敎會などでは一箇月二十万圓からの寄附があるとの事です尤も同地方は殆んど韓國布敎根據地の如き所であるからでもあらふ云々と語らる斯くして趣味多き一時間餘を過して辭した（蘇泉生）

目と耳

▲**壽座**● 大好評を以て迎へられつゝある曾我の家一座十五日の代り番組御祝儀五月昇り（一場）求婚廣告（三場）振られ與三郎（二場）美顏術（三場）忠臣蔵七五三段目三段返し

▲**歌舞伎座**● 十五日如雲の語り物前席大石內藏之助江戶探り後席大石內藏之助東下り

●**講談師鈴木長州** 東京下谷區西黑門町明法學士鈴木長州と云ふは武州幸手の生れなるが去る頃北海道臺灣滿洲等を無錢旅行し歸來眞龍齋貞水の門に入り新派を標榜して講談界に現れ卑近の部を拔き敎育的の講談をなし各學校にも招聘されつゝありしが今回滿韓の事情を通俗に紹介せんと其資料蒐集の爲め來韓し目下櫻井町馬渡氏方に滯在中なるが團体の招聘には應ずる由

●**東雲齋伯展覽會** 當地在住の清水東雲齋伯は大方雅客の賛助の下に來る十七日（日曜日）尚山本願寺に於て畫伯苦心の作物百余點を出陳し希望者は金五圓を出金せば抽籤にて之れを頒つと而して其の品目種別は左の如し

本金膜り墨畫二枚折本間屏風 一點
絹本尺八巾掛幅 十點
同上尺三 八十九點

# 不埒な質屋の行爲

▽の記事に就き正誤申込

拜啓陳者六月廿九日貴紙第四四二號紙上に於て不埒なる質屋の行爲の表題の下に當店に關する虛構の記事有之候得共右は何者か當店を中傷し爲めにせんとするものと存候間左の通り事實の眞想御揭載の上正誤相成度此段及請求候也

一松富助作と當店との間に十月五日及十月廿六日入質衣類の質契約をなしたれども何れも其期限は明治四十二年十二月末日なりしを以て假令火災に罹ると雖も當店に於て何等言議さるゝ節合なきものなり又昨年十二月廿六日入質及本年一月十六日入質此貸金十二圓の衣類に對して質契約の本來の性質より當店は火災による損害賠償の責任なきのみならず當時の火災の狀態より推し當店保管の質物全部の搬出をなすの余融の存在せしや否やは當時の事情を知れるものゝ能く知る處なりとす當店は明治四十年の仁川火災に鑑み麻製の大袋を作成し非常用袋となし居りたるを以て當時人を督し力と時間の許す限りは此れに詰め込み質物の安全を計りしが爲め延燒の速かなるにも拘らず當店の總入質高より只僅かに三割七分の質物のみを燒盡したるは誠に遺憾なり其責務を履行したる結果にして當店が社會に對し大に誇りとする所に有之候又假令此れに似通ひの事件ありて遂に公沙汰となりて二百圓の損害賠償せし事實ある云々の記事に付ては四十年仲町火災の當時の出來事にて其際避難の途中紛失せしものにして百九十圓余の損害要求を受けたるも質屋組合規約により過失の責を以て貸金額の五割の賠償を爲す可く主張せしも終に其筋の仲裁により不得已五十五圓の賠償を爲したる事實はありたれども今回の分と全然何等の關係を有せざるものなり右の次第なるを以て茲に正誤申出候也

仁川港宮町二丁目
明治四十三年七月六日 上月つね
京城西小門通京城新報社御中

本件は今日尚は繫爭中なれば借否は讀者の判斷に委するのみ

今日の運勢

七月十五日舊六月八日四綠先勝辛巳闢△一白 職業及び金融の業務に吉萬藤紛爭の端起り易し△二黑 妄言に罹り易し取引交際貨貸借尤も注意すべし新事見合せの事△三碧 轉易更改の事凶親族の事煩累あり新事旅行凶△四綠 屈伏を受くるあり賣買取引金品授受澁滯あり△五黃 保證引受を禁ず酒色盜害畏るべし△六白 新事改易の事見合せの事相談面談會見に吉△七赤● 破れ易き日婚姻團結組合の事凶●新事旅行見合せたるべし△八白 盜害及衝突不和の恐れあり尚療病衛生上留意の事△九紫 利得あり又職務上會心の事あり證券の事故障あり（三一館）

●**天氣豫報**（自十四日午後六時 至十五日午後六時）

**北東風曇少雨**

十三日（華氏）最高溫度 八二、六 最低溫度 六七、九

廣告

美術半襟帶締其他紐類各種
京城明治町一丁目 電話一千四百〇九番
ゑり德商店



京城待合案内（いろは順）

入船 南山町一丁目 電話一一三五番
春日 本町一丁目横町（支那領事館前） 電話九七〇番
やしく 南山町二丁目入口 電話二二九番
月の家 本町五丁目 電話一〇七六番
嬉野 永樂町一丁目 電話一四四四番
八島 南山町二丁目 電話一二八八番
松の家 初音町二丁目 電話一三三九番
この花 南山町一丁目 電話一〇二五番
壽 壽町三丁目 電話一一二二番
紅葉 南大門通三丁目 電話一三八二番
醉月 旭町二丁目 電話二六五番
住の家 旭町一丁目 電話六七六番

京城待合案内

---

前間恭作氏著
廣告
韓語通
定價壹圓五十錢 郵稅十錢
今回貳千部に限り壹圓廿五錢にて販賣可致候間御注文の程奉希候
和洋金物商 韓國京城本町五丁目 釘本藤次郎本店
長距離電話四五番 電信略號（ク） 振替貯金口座韓國（二五六）

來ル七月十五日（金曜）十六日（土曜）十七日（日曜）三日間 決戰
選手二百點以下
玉突競技會
會費金壹圓五拾錢出直シ五拾錢
會費一切現金ノ事
景品目錄
壹等 七十圓也 商品券 六等 三圓 商品券
貳等 三十五圓 同上 七等 二圓五十錢 同上
三等 二十圓也 同上 八等 二圓 同上
四等 十五圓也 同上 九等 一圓五十錢 同上
五等 十圓也 同上 十等 一圓 同上
特別賞 責任拔キ三圓商品券
但三人拔五回勝一等候補者トス
京城米倉町和樂園内 好松軒 電話九三七番

きゝめのある温泉湯
此の溫泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひぜん、梅毒、りん病よこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せんき腸胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他內用には鐵冷溫泉を併用すれば尤も效能あり
京城本町一丁目郵便局前
貸席 鐵冷溫泉 電話千四百十一番





六月一日ヨリ
岐阜提灯賣出し
利益なし元價の
一張二十五錢
東京足袋
本店東京
京城大和町一丁目（日の出橋際）
大和屋 藤井出張店
明治町勸商場内ニモ出張店アリ
電話二百〇五番
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

金錢貸借 電話讓渡 土地家屋 老舖賣買 人事百般 其他
周旋業
京城明治町一丁目勸商場前（電話一二九八）
明治屋

---

懷中良藥
仁丹主効
▲暑醉宿醉 ▲舟車暈 ▲頭痛目眩 ▲氣の欝 ▲胸腹痛 ▲口熱口臭 ▲齒の痛 ▲音聲美し ▲酒實味增 ▲惡疫豫防
消化と毒けし





快々として樂まぬ人
仁丹飲めば心底より愉快になる

▼逆上せ
▼便秘と
▼體毒には
梅毒新藥





に限る
代理店 京城 新井藥房

---

營業科目
和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類
委託販賣
東京ランバーゲ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約
韓國圖書會社教科書特約
藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目（電話二三〇番）
出張所 東京十番地 京城南大門通 仁川 鎭南浦 ……
開宮御用達

本店開業拾五ヶ年祝
弊堂開業後滿十五年今日の盛隆は全く各位御愛顧の賜ものに外ならずと確信仕候に就き此際祝意を表すると共に平素の御愛顧に酬ひんが爲め且つ層一層の販路擴張の目的にて
「タバン」懷中時計三千個及び「アンソニヤ」掛置時計三百個を限り四月一日より九月三十日迄本社の命に依り何方樣へも直段にて販賣することゝ相成從つて各位の御便利を計り左記特約店を設置致候間最寄りの店にて續々御購求の程願上度此段廣告候也 敬白
瑞西タバン懷中時計會社韓國代理店
米國ウオルサム時計韓國特約販賣店
米國アンソニヤ掛時計韓國特約販賣店
携帶電燈各種特約販賣店
仁川本町三丁目（電話七〇五番）
時計御商 喜多金光堂本店
京城本町二丁目（電話一〇一五番）
時計御小賣 喜多金光堂支店
京城本町一丁目憲兵分遣所前（電話一三八番）
右特約店 金化堂時計舖
各地方より御注文は發送費實費申受候

ビヤホール
氷アイスクリーム
◎登呂呂汁（御麥の御飯）
◎和洋會席御料理（御手輕主義）
旭町一丁目 度支部官舍下隣
松風軒

印章彫刻 ゴム印彫刻
京城本町四丁目
赤帽子號印舖 電話九三番
諸官衙御用達
奥野岩太郎

無比勉强
かやわた
關戶蚊帳株式會社韓國代理店
吳服太物 洋反蒲團 調進
京城明治町一丁目
唐川商店 電話二六一番
新案特許製綿韓國一手特約店

---



味噌醬油製造元 漬物問屋
京城本町五丁目
特約販賣 自製
大上商店（電話二五一番）
ビール新茶大賣出し

京城光化門通
淺田洋服店
店主 大島鼎藏
（電話四百十二番）

當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外預金貸金爲替等普通銀行の業務を精々確實親切に取扱申候
支店出張所
仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、羅南、安東縣、新義州、
爲替取引先
日本 東京、京都、大阪、橫濱、神戶、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大阪西區、松山、廣島、長崎、
韓國 公州、光州、晉州、全州、開城、海州、沙利院、博川、寧邊、
淸國 義州、大連、成興、遼陽、旅順口、奉天、鐵嶺、長春、牛莊、天津、北京、
其他 漢口、上海、
外國 香港、桑港、紐育、龍動、巴里、里昂、
韓國銀行

明治廿年七月創立
東京海上運送保險株式會社
資本金一千萬圓
事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番
京城代辨店 本町四 山口吳服店 電話九番

資本金 一千萬圓
積立金 五百四十萬圓
株式會社第一銀行京城支店
電話一一番 六二一番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
本店 東京市日本橋區兜町
支店及出張所 大坂、京都、橫濱、神戶、名古屋、四日市、下關、新大坂町（東京）、兵庫、伏見、西區（大阪）、釜山、
其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

齒科治療
本町六丁目
ドクトル 中村安子
（舊そば横町電話一五八三）